—教育と人生を学ぶ— ⑩

「魔法の薬」ってありますか？

NPO法人くだかけ会代表 和田重良

1948年小田原市生まれ。くだかけ生活舎での共同生活（人生科や農作業）をとおして、青少年や家庭の生活にさまざまなメッセージを送っている。

声の出し方・話し方

声の出るところ

愛言葉「よかったね」を声を出さずに心の中でそっと言ってみて下さい。

愛言葉「よかったね」を隣りの人にやっと聞えるような小さな声で語りかけてみて下さい。

愛言葉「よかったね」をごく普通に元気よく言ってみて下さい。

愛言葉「よかったね」を「ねー」と最後を長く伸ばして言ってみて下さい。

それぞれ声の出る所が違うように思います。いかがでしょうか。

同じ言葉でも気持ちの持ちようで声の思い方がずいぶん異なるのです。

南足柄あんしん講座

相手に伝えるには

先日来スポーツ指導者の体罰が話題になっていますが、子ども相手に限らず相手に何かを伝えるのにはいろいろなやり方があります。

一番ダメなやり方は暴力や大声で怒鳴ることです。暴力や大声で怒鳴るのは、力のない人のやり方だと認識して下さい。その証拠に必ずどうしようもない結果になるし、後味が悪いのです。強くもなりません。

暴力的になってしまったり、怒鳴り声を上げてしまった時には後で「あー、自分は力が足りないんだ」と思って間違いないのです。

体罰なんてことが生徒のためを思ってやっているなんてことはまったくもって話が違い過ぎます。自分の指導力の不足です。

国家が戦争という暴力に訴えていく時だって同じです。為政者の力量不足のごまかしなのです。

よく考えると「相手に伝えたいこと」の内容に確信を持てない時と確信がある時とあります。

確信の持てない時にはつい大声になったり力でごまかそうとしてしまいます。ですからそういう時は逆に「ゆっくりやわらかく」話をしてみた方がいいのです。

「ゆっくりやわらかく」話をしているうちに「どこで自分は確信が持てていないのか」を発見するでしょうから。

そういう風にしてみると、ほとんどのことで確信を持っていないのに適当な所で納得して進行している自分に気がつきます。

例えば「勉強しなさい」と言っても本当にこの子にとって勉強がどういう意味を持ち役に立つのか考えもせず、そもそも勉強というものが何のためにあるのか知らない大人もたくさんいるのです。

目的や内容や意味を確かめないで「勉強しなさい」と怒鳴ってもそれは虚しく壁に響いて終りです。

確信を持って伝える時というのはきっと腹に力の入った、ドッシリとした声で伝えられるし、相手にもわかりやすい言葉を使えるのだろうと思います。

例えば「何でも欲しいものを手に入れることがしあわせというのではない」と言うことを子どもに伝える時にお母さんやお父さんがそのことを確信を持って伝える時には静かに力強い声で話すことができるのです。

聴きやすい話し方

大事なことを話しているのに「チャント聞いていない」とイライラしてしまうことがあります。まあ本当に何も聞く耳持っていないような人もいますが、自分の方も相手が聴きやすい話し方をしているかどうかは疑問です。

いらない話をグダグダと長々と説明したりしていると人は耳を勝手にシャットダウンしてしまいます。

自分勝手や一人よがりの人は相手の様子を何も受けとらずにシャベリ続けるものですから聴いてもらえないどころか嫌われてしまいます。

自分の言ってることを相手に聴いてほしいなら相手の様子をよく見て受けとらなければならないのです。

早口でゴニョゴニョ言う人はよく気をつけた方がいいですよ。聞いている方は何言ってるか分らないのに、面倒臭いから聴き返すこともしてくれないことが多いのです。結果として何も伝わっていませんよ。

先日、ラジオを聴いていたらプロ野球の中畑監督と言う人が選手に言っていることを放送していて、その中で「語尾をハッキリ言え」と言ってました。ナルホドと思いました。

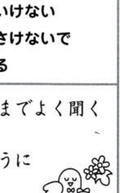
「しっかりやりま……ゴニョゴニョ」ではやるのかやらないのかわかりませんからね。

聴きやすい話し方をしているかどうかはとても大切なことです。生きる姿勢でもあります。「自分さえ解っていればいいや」という人もありますが、そんな一方通行では和やかに暮らすことはできません。

ゆっくり、やわらかく、ハッキリとした話し方を心掛けたいものです。

3月のキーワード

人生の宝庫を開く〈三つの鍵〉

- **ケチな根性はいけない**
- **イヤなことはさけないで**
- **ヨイことはする**

人の話を最後までよく聞くのと同時に
聞きやすいように
話すことも
とっても
大切です